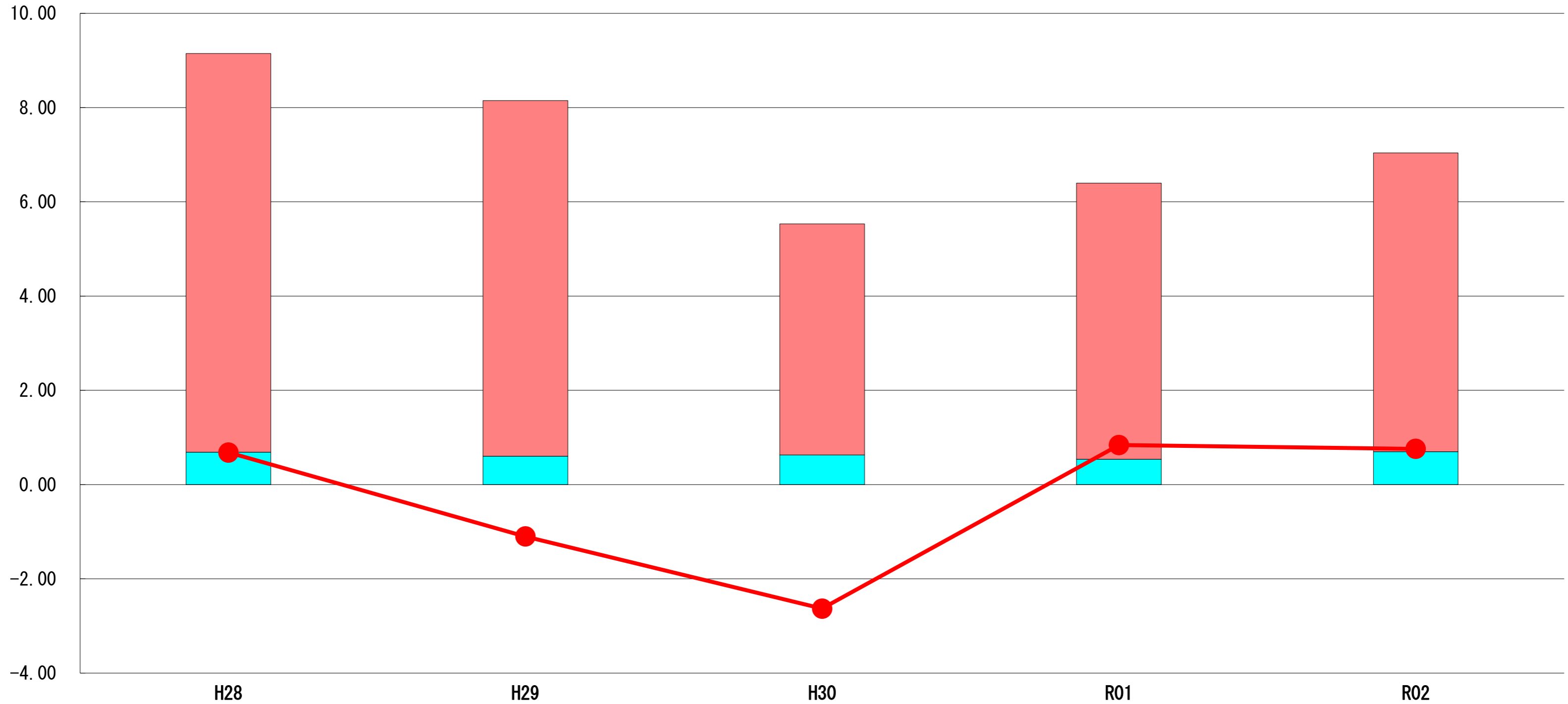


(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




令和2年度

愛媛県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H28	H29	H30	R01	R02
 財政調整基金残高		8.46	7.55	4.90	5.86	6.34
 実質収支額		0.69	0.60	0.63	0.54	0.70
 実質単年度収支		0.68	▲ 1.10	▲ 2.63	0.84	0.76

分析欄

歳出面では社会保障関係経費等の義務的経費や新型コロナウイルス対応経費が増加したが、歳入面でも国庫支出金や地方交付税等が増となったほか、対象税目が拡大されたことにより減収補てん債が増した結果、実質収支は前年度より増となり、実質単年度収支も黒字となった。

また、財政健全化基本方針（H23～R4）に基づき、職員定員の適正化による人件費の抑制や事務事業の見直し、自主財源の確保など歳入歳出両面にわたる徹底した見直しを行った結果、財政調整基金を含む財源対策用基金残高については、平成30年度に西日本豪雨災害対応により352億円まで減少したものの、令和2年度末残高は405億円まで復元された。